

施工パッケージ型積算基準（令和6年度4月適用分） 代表機労材規格一覧対応

【経済調査会刊行物情報(令和5年4月)のご利用にあたって】

本文に掲載する価格情報は、「施工パッケージ型積算基準（港湾工事、空港工事の令和6年4月適用分）」（国土交通省国土技術政策総合研究所 HP 掲載）の代表機労材規格一覧に対応する機械賃料と材料価格および市場単価を、月刊「積算資料 令和5年4月号」、月刊「積算資料 別冊 令和5年4月号」、「積算資料電子版 令和5年4月号」、季刊「土木施工単価 令和5年春号」の東京価格（東京17区）から抽出したものです。

ご利用にあたっては以下の内容にご留意ください。

- 「施工パッケージ型積算基準」の代表機労材規格と、月刊「積算資料」の名称・規格が合致しない場合は、想定されるものの価格を抽出しています。
- 「施工パッケージ型積算基準」の代表機労材単位と、月刊「積算資料」の単位が合致しない場合は、補正後の価格を記載し、補正式を換算情報に記載しています。
- 機械賃料は、賃貸期間が1ヶ月以上にわたる場合の長期割引後の価格を記載しています。
- 実際の積算にあたっては、物価資料の平均値等が用いられております。

【価格情報の著作権および利用許諾について】

価格情報に記載されている価格のうち、当会が発行する月刊「積算資料」、季刊「土木施工単価」等の刊行物及び「積算資料 別冊」、「積算資料電子版」等の電子商品から抽出しているもの（以下「掲載価格」）は、当会が独自に企画・調査・研究・編集したものであり、当会が著作権を保有しております。

また、この「掲載価格」をもとに作成した「価格データ（ファイル）」についても同様に当会が著作権を保有しております。

このため「掲載価格」及び「価格データ（ファイル）」のご利用にあたって、下記の事項に該当する場合は、あらかじめ当会の許諾が必要であり、その範囲内において利用ができます。

1. 「掲載価格」及び「価格データ（ファイル）」の全部又は一部を複製、転載、翻案、翻訳する場合。
2. 「掲載価格」及び「価格データ（ファイル）」の全部又は一部、あるいはその価格を用いて加工したものを紙媒体、電子媒体、ネットワーク、インターネット等を利用して販売、譲渡、貸与、配布、公表・公開する場合。
3. 「掲載価格」及び「価格データ（ファイル）」の全部又は一部、あるいはその価格を用いて加工したものを紙媒体、電子媒体、ネットワーク、インターネット等の手段により複数のコンピュータで共同利用できるようにする場合。

【免責事項】

本価格情報のご利用によって生じたお客様または第三者の損害については、当会としてはその理由のいかんに関わらず、一切の責任を負わないものとします。

代表材料規格の基準単価作成方法について 代表機労材規格一覧 修正箇所一覧

令和6年度4月適用分 について記す。

【港湾工事】

変更はない。

【空港土木工事】

修正 令和6年5月

修正は下記8箇所、及び 注記。連番に変更はない。

	連番	機労材区分	名称・規格	修正内容
誤	5	機械損料	ロードローラ[マダム・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量10~12t	積算基準改定に伴う修正
正	5		ロードローラ[マダム・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量10~12t 締固め幅 2.1m	
誤	8	機械損料	振動ローラ [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t	積算基準改定に伴う修正
正	8		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t	
誤	9	機械損料	振動ローラ [搭乗式・タンデム] 排出ガス対策型(第1次基準値) 質量8~10t	積算基準改定に伴う修正
正	9		振動ローラ [搭乗式・タンデム] 排出ガス対策型(第2次基準値) 質量8~10t	

修正 令和6年5月（つづき）

	連番	機労材区分	名称・規格	修正内容
誤	10	機械損料	振動ローラ [搭乗式・タンデム] 排出ガス対策型(第1次基準値) 質量 2.4～2.8t	積算基準改定に伴う修正
正	10		振動ローラ [搭乗式・タンデム] 排出ガス対策型(第2次基準値) 質量 2.4～2.8t	
誤	13	機械損料	A S フィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 2.4～6.0m [排出ガス対策型(第1次基準値)]	積算基準改定に伴う修正
正	13		A S フィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 2.4～6.0m [排出ガス対策型(第2次基準値)]	
誤	14	機械損料	A S フィニッシャ [ホイール型] 舗装幅 3.0～8.5m [排出ガス対策型(第1次基準値)]	積算基準改定に伴う修正
正	14		A S フィニッシャ [ホイール型] 舗装幅 3.0～8.5m [排出ガス対策型(第2次基準値)]	
誤	15	機械損料	ディストリビュータ [自走式] 2000～3000 リットル	積算基準改定に伴う修正
正	15		ディストリビュータ [トラック架装式] 2000～3000 リットル	
誤	18	機械損料	散水車 5500～6500 リットル	積算基準改定に伴う修正
正	18		散水車 [トラック架装式] 5500～6500 リットル	

【港湾工事】施工パッケージ型積算基準(令和6年度4月適用分) 代表機労材規格一覧対応 経済調査会刊行物情報(令和5年4月)

連番	機労材区分	名称・規格	単位	価格	価格の適用	長期補正割引率	刊行物名称	号数	頁	掲載単価	都市名称	流通区分名称	取引数量名称	掲載単位	換算情報	経済調査会コード
001	機械賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型]25t 吊	日	41,600	長期割引後の価格	0.2	積算資料	202304	285	52,000	関東	①	1台	台・日	*(1-0.2)	183120080025
002	材料	レディーミクストコンクリート [高炉 18-8-25]	m 3	17,400			積算資料	202304	99	17,400	東京17区(注1)	②	500~2000m3程度	m 3		141132518080
003	市場単価	型枠組立組外 [材工共・クレーン抜き] 根固ブロック	m 2	3,900			土木施工単価	202304	252	3,900	東京都	①		m 2		952511210010
004	市場単価	コンクリート打設 [手間のみ・直接打設] 根固ブロック	m 3	2,800			土木施工単価	202304	256	2,800	東京都	①		m 3		953011110040
005	市場単価	コンクリート打設 [手間のみ・ポンプ車打設] 根固ブロック	m 3	4,100			土木施工単価	202304	256	4,100	東京都	①		m 3		953011110010
006	市場単価	コンクリート打設 [手間のみ・クレーン打設] 根固ブロック	m 3	2,800			土木施工単価	202304	256	2,800	東京都	①		m 3		953011110030
007	市場単価	底面工・ルーフィング [材工共]	m 2	520			土木施工単価	202304	228	520	東京都	①		m 2		951011010010

(注1) 東京23区のうち、目黒、世田谷、板橋、練馬、足立、葛飾を除く17区の価格。

【空港土木工事】施工パッケージ型積算基準(令和6年度4月適用分) 代表機材規格一覧対応 経済調査会刊行物情報(令和5年4月)

連番	機材区分	名称・規格	単位	価格	価格の適用	長期補正 割引率	刊行物名称	号数	頁	掲載 単価	都市名称	流通区 分名称	取引数量名称	掲載 単位	換算情報	経済調査会 コード	
01	機械損料	ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]3t 級	供用日		(注2)												
02	機械損料	トラック [普通] 2 t 積	供用日		(注2)												
03	機械損料	トラック [普通] 4~4.5 t 積	供用日		(注2)												
04	機械損料	モータグレーダ[排出ガス対策型(第1次基準値)]ブレード幅 3.7m	供用日		(注2)												
05	機械損料	ロードローラ[ワガム・排出ガス対策型(第1次基準値)] 質量 10~12t 締固め幅 2.1m	供用日		(注2)、(注3)												
06	機械損料	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)]質量 3~4t	供用日		(注2)												
07	機械損料	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)]質量 8~20t	供用日		(注2)												
08	機械損料	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t	供用日		(注2)、(注3)												
09	機械損料	振動ローラ [搭乗式・タンデム] 排出ガス対策型(第2次基準値) 質量 8~10t	供用日		(注2)、(注3)												
10	機械損料	振動ローラ [搭乗式・タンデム] 排出ガス対策型(第2次基準値) 質量 2.4~2.8t	供用日		(注2)、(注3)												
11	機械損料	振動ローラ [搭乗式・コンパクト型] 排出ガス対策型(第1次基準値) 質量 3~4 t	供用日		(注2)												
12	機械損料	ASフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m	供用日		(注2)												
13	機械損料	ASフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 2.4~6.0m [排出ガス対策型(第2次基準値)]	供用日		(注2)、(注3)												
14	機械損料	ASフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅 3.0~8.5m [排出ガス対策型(第2次基準値)]	供用日		(注2)、(注3)												
15	機械損料	ディストリビュータ [トラック架装式] 2000~3000 リットル	供用日		(注2)、(注3)												
16	機械損料	アスファルトスプレヤ[手押し式]25 リットル/min	供用日		(注2)												
17	機械損料	路面清掃車 [ブラシ式・四輪式] ホッパ容量 2.5~3.1m3	供用日		(注2)												
18	機械損料	散水車 [トラック架装式] 5500~6500 リットル	供用日		(注2)、(注3)												
19	労務	特殊作業員	人		国土交通省HP掲載												
20	労務	普通作業員	人		国土交通省HP掲載												
21	労務	特殊運転手	人		国土交通省HP掲載												
22	労務	一般運転手	人		国土交通省HP掲載												
23	労務	一般土木世話役	人		国土交通省HP掲載												
24	材料	軽油 1.2 号	リットル	137			積算資料	202304	259	137	東京	②	月間2~4kL程度	L		690206000000	
25	材料	ガソリン レギュラー	リットル	149			積算資料	202304	259	149	東京	②	月間500L程度	L		690105000020	

(注2) 機械損料は、「令和4年度 船舶および機械器具等の損料算定基準」の供用日当たり換算値損料(15欄)

(注3) R6.5国土技術政策総合研究所の修正箇所は、名称・規格の赤字の箇所、積算基準改定に伴う修正。